

令和3年度 指定管理業務 評価票

りんくう公園	【指定管理者】 ハートフルりんくう	【指定期間】 平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	----------------------	---------------------------------	--------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。
 ○来園者の平等利用に努めるとともに快適に利用できるようバリアフリー化に伴う出入口開放(車止めの開放)を実施。
 様々な媒体により情報発信し利用促進を図った。
 ○海に親しむ公園としての魅力向上のため、景観向上を提案し樹木管理・花壇管理等の景観づくりに努めた。
 ○新型コロナウイルス感染症への対応を適切に実施した。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	施設所管課の評価		評価委員会の 指摘・提言	
			評価	評価		
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の 設置目的及 び管理方針	管理に関する基本的な考え方に 沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(2)平等な 利用を図る ための具 体的手法・効 果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベント情報等は園内掲示板やミニコミ誌、ホームページやSNSを活用、新たに泉佐野市マスコットキャラクター「イヌナギン」のツイッターを活用して情報発信した。 ○日々の巡視でハートフルゲートや太鼓橋の板などの異常の有無を確認し、異常があった場合は直ちに補修を行った。 ○コロナ対策を実施しながら、車いす、砂浜用車いすの無料貸し出しを行った。 ○新たに公園のパンフレットを日本語以外の3カ国語(英語・中国語・韓国語)を作成し周辺施設に配架した。 ○バリアフリー化に伴う出入口開放実施で、昨年からの実施に加え、今年度新たな出入口開放を行った。 ○多目的トイレを中心に各施設の細部の画像をホームページに146枚掲載した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たに、泉佐野市と連携し「イヌナギン」の媒体を用いて広く情報発信できるよう努めることができた。 ○バリアフリー化における車止めの開放やバイク進入台数の報告、バイク進入者に対して丁寧に説明するなどトラブルがないように務めた。 ○多言語パンフレットの作成や、各施設の画像をホームページに掲載し、誰もが平等に公園利用できるように情報提供を行った。 	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。</p> <p>バイク進入の課題があるなか、車椅子やチャイルドシート付き自転車利用者などが支障なく通行できるようバリアフリー化に伴う出入口試験開放をR2年7月1日よりR3年6月30日間実施した。</p> <p>7月以降も指定管理者の努力により継続して開放することが決定した。これらのバリアフリー化に向けた対応は高く評価できる。</p> <p>R3年9月よりバリアフリー化に伴う出入口開放実施の第2弾を実施するなどその取り組みは高く評価できる。</p>	S	施設所管課評価は適正である。 バリアフリーに関する取組については、高く評価できる。
(3)利用者 の増加を図 るための具 体的手法・効 果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認。 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○11月末時点の来園者数は、291,758名(前年度比70%) (※ただし、駐車場閉鎖期間はカウントしていない。) ○新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を講じながら事業計画どおりのイベントを実施し、11月末時点での自主イベントは14件開催し、379人の参加があった。 ○管理事務所1階でかぶとむしの成虫90匹の展示を行い、生態解説パネルを制作、他公園にも情報提供を行い、連携した展示を行った。 ○新たに平成30年に発生した台風21号で倒木した根株の展示や重さを当てる企画を行い、サービス向上としてのビタリ賞には駐車場無料券の付加価値を取り入れた結果58人の応募があった。 ○連携として、隣接する泉佐野市野外文化音楽堂オープン時に「多肉植物の寄せ植え体験会」を出展し、80名の参加があった。 ○アウトレット海側園路で、キッチンカーを週末に出店した。 ○12/11在留外国人を対象とした門松作り体験を開催予定。 ○年末年始(12月30日から1月3日)周辺商業施設通常営業に合わせキッチンカーを出店する予定。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベントはオンラインを活用して応募を行う等、新しい生活様式を取り入れ実施した。 ○キッチンカーを週末に出店するなど、利便性の向上を図る取り組みを実施した。 	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p> <p>公園の活性化や府民サービス向上の取り組みは評価できる。</p> <p>引き続き様々な取り組みを実施されることを期待する。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
	収益事業の実施状況(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無料BBQ禁止の横断幕をシーサイド緑地の目につきやすい3箇所に設置した。 ○駐車場閉鎖に伴い、週末は第1駐車場に誘導員1人を日の入りの時間帯(19時過ぎ)まで配置しロータリーで車両が安全に転回できるようにし、トラブルがないように努めた。 ○駐車場閉鎖期間中は、府道泉佐野岩出線の中央分離帯に禁止看板を5箇所設置した。 ○軽トラックの荷台に、BBQ禁止を案内する大型看板を設置し、移動しながら拡声器で広く呼びかけた。 ○スケートボード利用者に対してトラブル未然防止の注意を促すメッセージカードを配布したが、苦情の増加に伴い、連絡通路でのスケートボードを禁止し、代替地として臨時駐車場を案内する看板5箇所と、利用者にメッセージカードを配布した。 ○職員研修として11/26に安全・安心の公園を目指し、胸骨圧迫とAEDの使い方についての講習会を5名受講した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スケートボード利用者に対して、粘り強く丁寧に言葉を掛け続け、事故が発生する前に代替地を設けるなど未然に防ぐことができた。 	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p> <p>トラブル防止に向けた利用者指導等を実施した。</p> <p>継続して取り組んでいただくことを期待する。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○草地管理ではGW前に除草を終えるなど、利用状況を踏まえた除草に配慮した。 ○低木剪定ではシーサイド緑地歩道沿いのユキヤナギなど花後すぐに刈り込むなど花芽分化の時期に留意して剪定を行った。 ○シーサイド緑地の景観向上としてクロマツを中心に972本の剪定を行った。また、ギャップ地にクロマツの苗木を13本植栽と、異形樹木6本を伐採。 ○シンボル緑地花海道に「綿の木・タイムツソウ・インゴク」など179本を植え付け再生を施した。 ○海への道花壇「万葉ゾーン(触覚)」として、万葉集に登場する植物を植え付け、歴史に触れるよう改修した。 ○海への道花壇「森の香ゾーン(嗅覚)」では、メキシコマンネングサを422本追加し、森の中のコケをイメージした配植を追加した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年の台風21号の被害で美観が損なわれていた樹木の剪定や伐採、苗木の補植などを行い、景観向上になるよう取り組んだ。 ○各花壇において、宿根草などの草花を植栽し、美観、利用面共に良好な園内環境の再生に取組み、来園者に提供できた。 	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。</p> <p>過年度の台風被害によるクロマツ等の樹形不全に対し、計画本数を大きく越える剪定及び伐採作業を実施し、公園の景観修復を行ったことは高く評価できる。</p>	S	施設所管課評価は適正である。シーサイド緑地の景観向上に関する取組みは高く評価できる。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○週2回を標準として園内清掃を実施した。 ○GW期間中毎日清掃を実施し美観維持に努めた。(4/29-5/6) ○府道や泉佐野市道の歩道を中心に清掃を行い周辺美化に取り組んだ。(6/13・11/19) ○高圧洗浄機で各トイレや管理事務所の壁面、四季の泉の洗浄を実施した。 ○萩の売店屋上のトユの清掃や、園内の集水樹の堆積土砂撤去など実施した。 ○アウトレットに近いマーブルビーチを清掃強化エリアと定め、毎日清掃を実施した。 ○令和2年10月に発生した赤潮の影響で、内海に発生したシオグサの回収をその都度実施した。 ○イベント主催者にはゴミの持ち帰りをお願いし、公園の美化及びゴミの抑制に努めた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内海に発生したシオグサの回収や、公園区域外の清掃も積極的に行い園内外の美化に柔軟に取り組んだ。 ○ゴールデンウィーク期間中は、毎日清掃を実施し、ゴミのない状況を維持できた。 ○walkableな空間づくりとして、アウトレットに近いマーブルビーチを清掃強化エリアと定め、毎日清掃を行い、新しい空間を形成した。 	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p> <p>内海のシオグサ清掃、海浜地の流木の回収、冠水清掃などを実施したことは評価できる。</p> <p>引き続き臨機応変な対応に期待する。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか(頻度および技術について確認。)					
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	施設所管課の評価		評価委員会の 指摘・提言	
			評価	評価		
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取組について応募時の提案を実施できたか。	【実績】 ○内海海底調査を実施し、シオグサの堆積状況や外海との導水管の状況を従業員に情報共有した。 ○内海に生息している生き物を紹介するパネルを4枚作成した。 ○「内海生き物観察会」を大阪府立大学と連携して開催し20名の参加があった。 ○約90匹のかぶとむしを観察できるハウスを設置し、連日子供たちの歓声が絶えなかった。また、生態についての解説パネルを2枚オリジナルで制作し掲示した。 ○花海道では、五感を意識した植物を植え付けた。また、綿の木は他公園から種の提供を受けた。 ○平成30年に発生した台風21号で倒木した根株を活用し、「根株を観察して重さを当てよう」を展示し、複雑な根の状態や引きちぎられた様子など、自然を学べる場を提供した。 ○2/13に「NHK放送チョコちゃんに叱られる」で、チリモンについて詳しく説明をされた「きしわだ自然資料館学芸員」を講師に「チリモンスターを見つけよう！」を開催予定。 【自己評価】 ○他公園や大学と連携しながら、学べるきっかけづくりを提供することができた。 ○花海道に約200本の植物を植栽し自然環境づくりに取り組んだ。	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。 引き続き、様々な取り組みに期待する。	A	施設所管課評価は適正である。
	利用者の安全確保対策の具体的方策(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	危機管理体制(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。 ①府公益事業への協力②就労支援③障がい者雇用率④知的障害の継続雇用⑤府民参加・NPOとの協働⑥環境問題	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	新型コロナウイルス感染症に対して、基本的な事項を講じ、適切に実施できたか(感染拡大防止に向けた対策の実施、府民への周知が適切なタイミング・手法で実施されたか)。	国や各種業界団体が示す感染拡大予防ガイドラインに沿い、感染拡大防止に向けた対応を適切に実施した。	A	国や各種業界団体が示す感染拡大予防ガイドラインに沿い、感染拡大防止に向けた対応を適切に実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	【実績】 ○アンケート調査を8/5-8/17で100人、8/18-10/11で310人に実施した。 ○総合的評価の全般的な満足度は、「S(1.62)」であった。 ○植物管理では、「草刈(1.5→1.6)」「樹木(1.6→1.7)」「花壇(1.4→1.5)」昨年度より上昇している。 ○施設管理では、「便所(1.2→1.3)」「ゴミ(1.2→1.4)」「施設(1.3→1.5)」昨年度より上昇している。 ○サービスは、「高齢者や障がい者、乳幼児等への配慮(1.3→1.4)」「売店(0.3→0.8)」「イベント(0.8→1.0)」「HPやイベントの案内(1.0→1.3)」「職員(1.6→1.7)」昨年度に比べると評価が上昇した。 【自己評価】 ○全体の満足度が1.6点あり、S評価であった。 ○臨時売店を出店し利便性の向上につながるよう積極的に出店した。次年度は、車両台数を増やすなどさらに利便性向上を図りたい。 ○ホームページには、公園施設の細部まで画像を掲載するなど知りたい情報を掲載した結果上昇した。次年度は、周辺施設の画像を紹介するなど回遊性強化に努めたい。	S	公園の全般的な満足度は1.62で、非常に高い評価を得ている。	S	施設所管課評価は適正である。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組を行ったか。	【実績】 ○サービス(売店)0.3点(R2年度) ・新メニュー「ボンボンソフトクリーム」の追加、オリジナルタペストリー設置など売店営業のPR強化を図った。 ・臨時売店として、キッチンカーをアウトレット海側園路に出店し、11月末時点で45日間出店した。 ○サービス(イベントの種類や数)0.8点(R2年度) ・緊急事態宣言下でもオンラインを活用するなどコロナ対策を万全に行い、開催することができた。 ・新規イベントとして、かぶとむしハウスの設置や、根株を観察して重さを当てようなど集客を目指した取組を行った。 ○サービス(ホームページやイベント案内)1.0点(R2年度) ・ホームページに公園施設をゆるキャラがアンバサダーとなり、多目的トイレや休憩所など細部まで画像を掲載、来園前にイメージできるようにした。 【自己評価】 ○臨時売店を積極的に出店するなどサービス向上を図った。 ○コロナ禍で新しい生活様式・コロナ対策を行い、イベントを開催した。 ○園内すべての多目的トイレの画像をホームページに掲載することで、障がい者にやさしい、取組を行うことができた。	A	前年度アンケートの結果を受けて、より満足度を向上させるよう取り組んでいる。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のため適切に取組を実施している。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
(2)その他 創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コキアなどの植え付けによる景観向上提案 ・コキア39本やダリア125本の植え付けなどスポットとなる景観づくりを行った。 ○コロナ禍での新しい取組み ・七夕飾りなど筆記具を使用して、不特定多数の方が応募するイベントはオンライン化に移行した。 ・根株の重さを当てようでは、専用のQRコードから応募できるように行った。 ○りんくう公園オリジナルPRポスターの作成 ・フォトボランティアから画像の提供受け、「夕日」をテーマに4点作成。泉佐野観光案内所や、関西国際空港などに掲示した。また、泉佐野市観光協会のSNSにも掲載を実施。 ○新たな自然環境学習の取組み ・内海に生息している12種類の生き物を紹介したパネルを4枚作成し、総合休憩所に展示、イベント時に活用した。 ・平成30年に発生した台風21号で倒木したクロマツの根株を展示し、同時に重量を当ててるイベントを行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知度アップのためにポスターの作成を行い、PR効果に努めた。 ○新たにコキアを植え付けるなど景観向上に努めた。 ○重量を当てようなど、ユニークな取組みを行い、利用促進につながるよう図った。 	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。 景観向上のためコキア等の植栽、公園のPRやイメージアップのためのポスター作成、内海の自然環境調査や生息する生きものを紹介するパネル作成の取り組みなどは高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。 コキアの植え付けや、ポスターの作成等、積極的な情報発信に関する取り組みは高く評価できる。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1)収支計画の内容、 適格性及び 実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染拡大防止に伴う駐車場閉鎖により大幅な減収となった。その後、コロナ禍による来園者の増加に伴い閉鎖再開後の駐車場収入は前年度を上回っているものの、全体としては減収となっているが、適宜支出計画の見直しを行ったことから、収入不足とはなっていない。 ○持込催し等の中止に伴い、支出計画に沿った支出配分はなされていないが、支出超過とはなっていない。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当初の支出計画に変更はあったものの、収支バランスを維持できている。 	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	施設所管課評価は適正である。
(2)安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理体制計画にそった管理体制を構築した。 ○繁忙期やイベント時には人員を増員するなど柔軟に対応した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来園者が安全に、安心して、公園を快適に利用できるよう運営管理を行うことができた。 	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	
	必置技術者等の配置(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一級造園施工管理技士1名を配置した。 ○電気主任技術者を保持する(一財)関西電気保安協会へ業務委託した。 ○公園管理運営士を1名配置した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要な資格者を適正に配置することができた。 	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園スタッフに対し朝礼等で他公園での事故事例の報告や注意喚起を行った。 ○業者に対しても刈払機の使用の際は飛び石に注意し、安全作業を心掛けるよう指導した。 ○安全教育では毎月1回、所内会議時に危険予知トレーニング(KYT)を実施した。 ○除草時には、ネットで防護するなど、飛び石を発生させないよう取り組んだ。 ○機械作業時での注意看板を新たに制作し、作業中はコーンだけでなく注意看板の設置も行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事故防止に努めた結果、事故なく管理運営できている。 	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	経営状況に問題はない。	A	特に問題は見当たらない。	A	施設所管課評価は適正である。